

森林環境教育教員研修の 実施について

令和2年2月16日

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター
自然再生指導官 倉石 博

環境教育を子どもたちに指導する先生を対象
とした研修を、平成16年度より箕面市教育
センターと連携して開始

平成16年8月18日、森林環境教育プログラムに関する研修

・箕面国有林で、箕面市と豊中市の小中学校の先生13名を対象
に実施（植物観察、間伐作業、ネイチャーゲーム、木工クラフト等）

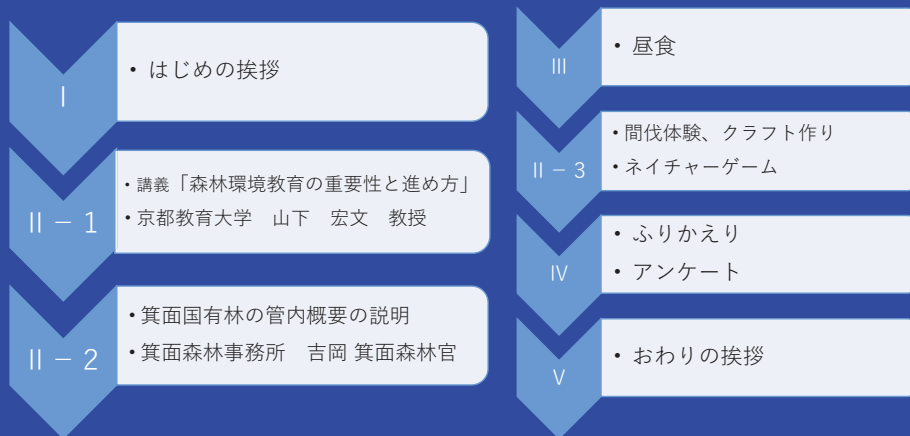
・先生たちの感想

- ・森林での体験を通じて、森林の大切さ、面白さを感じた
- ・今回の体験を今後の森林環境教育の参考にしたい



平成22年8月19日実施の教員向け森林環境 教育セミナーのプログラム

箕面国有林で、箕面市と豊中市の小中学校の先生及び
箕面市教育センター職員の20名を対象に実施



II - 1 講義
「森林環境教育の重要性と進め方」
京都教育大学 山下 宏文 教授



II - 2
箕面国有林の管内概要の説明
箕面森林事務所 吉岡 箕面森林官



II-3 体験実習 間伐体験



II-3 体験学習
ネイチャーゲーム
(色あわせ)



カラーカードと同じ色の自然のものを探す

平成22年度のセミナーでの意見を踏まえた対応

森林環境教育推奨事例集 (平成21年8月発行)

活動中心の内容で、教育課程の中で森林環境教育に取り組むには不十分



森林環境教育手引書〈小学校編〉
(平成24年3月発行)

教育課程・学習指導要領を念頭に、森林・林業に関する記述を各教科の目標や内容に位置付け(図表・写真・動画のDVDを添付)



併用した森林環境教育の実施

アンケート結果 (先生たちの感想・意見)

• 森林環境教育を推進するうえで何が大切か？

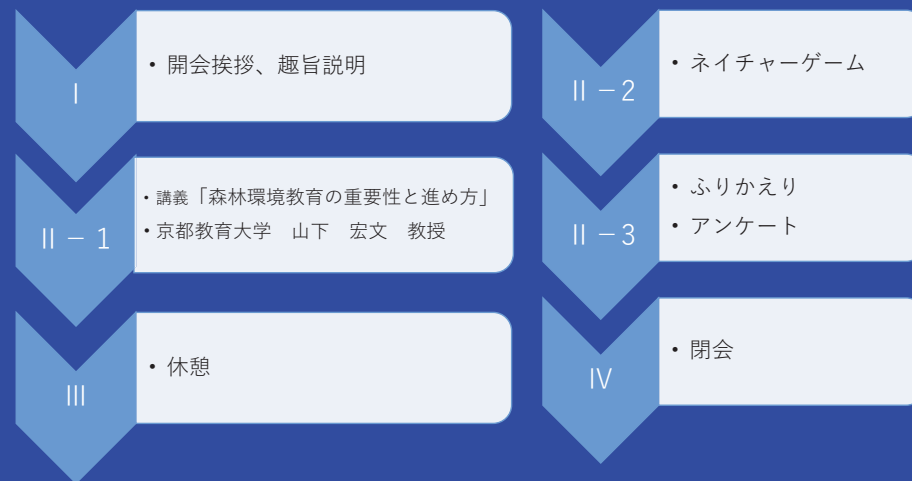
- 指導者自身がまず森林について興味をもつことが大切だと思う
- 教科書だけで学習するのではなく、体験することが大切である
- 実際に木を伐ったり、土や葉っぱに触れることが大切である

• 実際の授業で森林環境教育がどれだけ進んでいるか？

- 森林環境教育として計画的に取り組んでいるのは少ないと思う
- あまり体験的な学習を行っていないと思う
- もっときちんと位置付けて指導すべき

平成30年7月30日実施の森林環境教育
教員研修のプログラム 午後半日の日程

箕面国有林で、箕面市の小学校の先生5名を対象に実施



II-1 講義
「森林環境教育の重要性と進め方」
京都教育大学 山下 宏文 教授



II-2 ネイチャーゲーム



大阪森林インストラクター会の指導

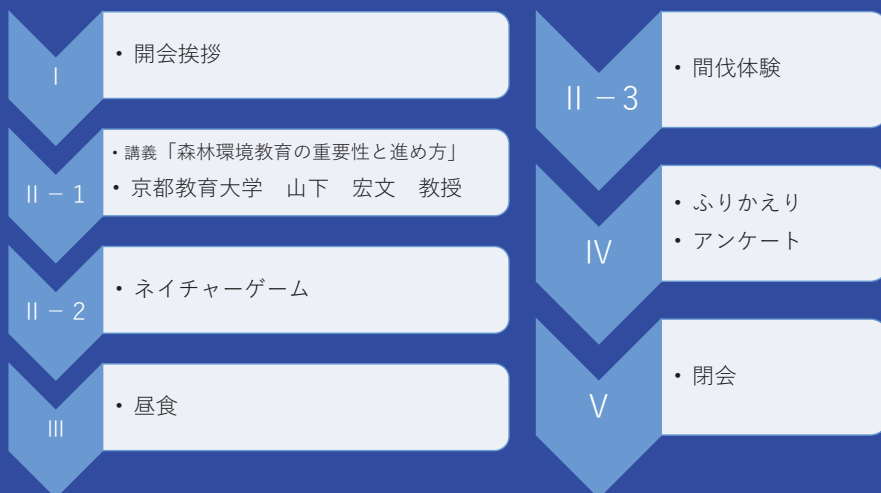
アンケート結果（先生たちの感想・意見）

• 森林環境教育について

- これから必要な教育だと思った
- どのような授業が森林環境教育に位置付けられるのが初めて分かった
- ネイチャーゲームを学校でやってみたい

令和元年7月29日実施の森林環境教育教員研修のプログラム

箕面国有林で、箕面市と豊中市の小中学校の先生8名を対象に実施



II-1 講義
「森林環境教育の重要性と進め方」
京都教育大学 山下 宏文 教授

II-2 ネイチャーゲーム



大阪森林インストラクター会の指導

II-2 ネイチャーゲーム



大阪森林インストラクター会の指導

II-3 間伐体験



きんきちゅうごく森林づくりの会の指導

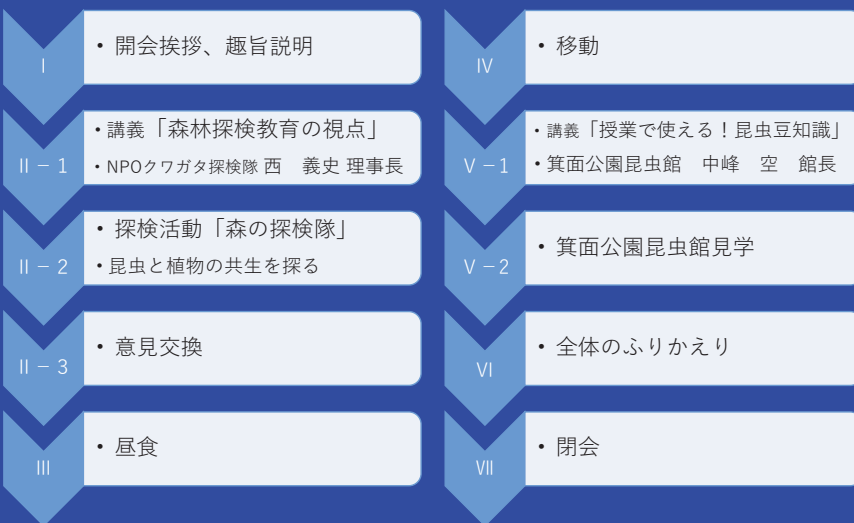
アンケート結果（先生たちの感想・意見）

•ネイチャーゲーム、間伐体験について

- ネイチャーゲームは手間もかからず楽しいので、子どもたちも喜びそう
- 普段ほとんど経験することのない間伐体験を経験できて良かった
- 間伐体験をして、言葉や映像では伝わらないものを得た
- 木を切ることは悪いことというイメージは、間伐体験により払拭すべき
- 体験することで楽しさを感じられるので、子どもたちに体験させたい

令和元年7月22日実施の「森の探検隊」教員研修のプログラム（平成27年度から実施）

箕面国有林で、箕面市教育研究会理科部会の小学校の先生13名を対象に実施



II-1 講義
「森林探検教育の視点」
NPOクワガタ探検隊 西 義史 理事長



II-2 探検活動「森の探検隊」
昆虫と植物の共生を探る
NPOクワガタ探検隊 西 義史 理事長



Ⅱ-2 探検活動「森の探検隊」
昆虫と植物の共生を探る
NPOクワガタ探検隊 西 義史 理事長

V-1 講義
「授業で使える！昆虫豆知識」
箕面公園昆虫館 中峰 空 館長



クヌギと
ミヤマクワガタ、スミナガシ、カナブン



アンケート結果（先生たちの感想・意見）

・森林探検教育の視点について

- 生物多様性について、五感を使って自分たちの当たり前を揺さぶり、考えるために創作紙芝居「かぶと虫になりたかったミヤマくん（ミヤマクワガタ）」を見せていただけて分かりやすかった

・授業で使える！昆虫豆知識について

- 昆虫の生態などの豆知識がたくさんあって、面白かった
- 教室にいる昆虫博士（先生よりも昆虫に詳しい子ども）の疑問は専門家（昆虫館の職員など）に回答をまかせるというアドバイスは良かった

アンケート結果

これまでの教員研修における共通の設問 1

・森林環境教育を推進するうえで何が大切か？

- 指導者自身がまず森林について興味をもつことが大切だと思う
- 教職員が森林環境教育の重要性、必要性を実感すること
- 教科書だけで学習するのではなく、体験することが大切である
- 実際に木を伐ったり、土や葉っぱに触れることが大切である
- 自然、森林の大切さを子どもたちに伝えること
- 子どもたちに、ただ見せたり話をしたりするだけでなく、体験を取り入れることが大切
- 知識と同じように「体験する」ことは大切

興味

実感

学習

+

体験

アンケート結果

これまでの教員研修における共通の設問 2

・森林環境教育を導入するための課題は？

- 他の先生に森林環境教育を知らせる機会を増やすこと
- 自然や森林にふれあう時間を増やすこと
- 森林環境教育への関心、問題性の広まり
- 実施する機会、専門知識を持った協力してくれる人、場所、移動手段
- 授業の組立、内容の精選、時間の確保
- 森林環境教育を学ぶ必要性を強調していくこと
- 屋外では安全面が課題、天候に左右されやすい

機会

時間

人

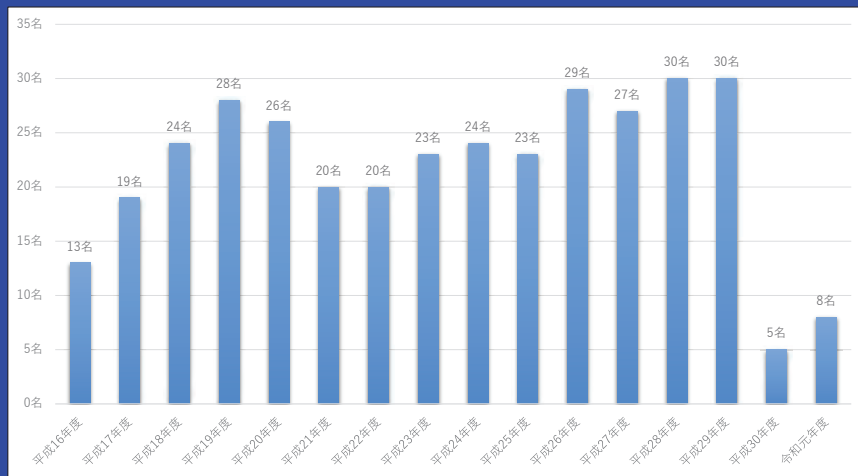
場所

移動

安全

天候

森林環境教育教員研修参加者の推移



新たな教材の発行

森林環境教育推奨事例集（平成21年8月発行）



森林環境教育手引書〈小学校編〉
（平成24年3月発行）



森林環境教育（森林ESD）活動
報告事例集（平成31年1月発行）



御静聴ありがとうございました